

## 令和2年度第4回大和市総合教育会議議事録

- 1 日 時 令和2年11月27日（金） 10時30分～11時45分
- 2 場 所 大和市役所 5階 研修室
- 3 出席者 市長 教育委員会（柿本教育長、青蔭教育長職務代理者、小松委員、前田委員、森園委員）  
市職員（政策部長他9名）
- 4 傍聴人 なし
- 5 議 題 （1）教育大綱関連事業の令和元年度の成果と取り組みの方向性について
- 6 資 料 ・ 次第  
・ 【資料1】教育大綱関連事業一覧  
・ 【資料2】教育大綱関連事業の令和元年度の成果と取り組みの方向性について  
・ 【資料3】大和市教育大綱

---

### 【会議要旨】

- 1 開会
- 2 市長挨拶
- 3 議題  
(1) 教育大綱関連事業の令和元年度の成果と取り組みの方向性について  
所管部 : (資料について説明)

教育長 : 教育に関する事業、教育大綱に関連する事業が数多くある中、令和元年度も各事業の目的達成に向け、各所管が予算執行をした。  
教育委員会としては、令和元年度の各事業の成果と課題を捉え、今年度も効果的に事業を実施し、次年度の事業へつなげていきたいと考えている。

教育委員: 方針①「すべての子どもの健やかな成長に向けた切れ目ない支援を推進します」の病児保育事業について、意見と質問をさせていただく。  
子どもを預けるところを探すのに、大変な思いをされたという話を聞いた。お仕事をされている子育て世代の家庭にとって、体調を崩した子どもを預けることができる病児保育は、大変心強いものだと思う。これからも利用されている方々の声を聞きながら、ニーズに応えられるように病児保育の環境を充実させて欲しいと思う。そして、病児保育のことをよく知らない方々もまだ多くいる

と思うので、様々な方法で工夫しながら、できるだけ多くの方々に伝わるよう、しっかり周知して欲しいと思う。

大和市外にお住まいの方も大和市の病児保育を利用されているとのことだが、市内の方と市外の方では、利用料金やルールが異なるのか。また、市が民間病児保育施設に対して補助金を交付しているとのことだが、神奈川県からも補助金は出ているのか。

所管部 : 大和市外にお住まいの方については、民間病児保育施設が自主事業として受入れをしている。そのため、利用料金等については各民間病児保育施設が独自に設定している。また、民間病児保育施設への補助金については、子ども・子育て支援交付金が充てられている。これは、国、神奈川県、大和市が 1/3 ずつ費用を負担しているものである。

教育委員 : 方針③「様々な体験を通し、豊かな感性を育みます」の青少年指導者育成支援事業について、意見と質問を申し上げる。

子どもたちの遊び方が、部屋の中であまり活動しないものや、インターネットを通じたコミュニケーションに変わってきていると言われている。このように社会が変化する中で、子どもたちが健やかに育つには、集団の中で、様々な方と接し、様々な体験ができるよう、環境を用意することがますます大切になってきている。

先月のハロウィンでは、私の家に来るとお菓子がもらえると知った子どもたちが、ご両親と一緒に元気な笑顔で我が家に来てくれた。どの子どもたちも感染症対策の大切さを理解し、その大切さを実感し、しっかりとマスクを着けていた。子どもたちの元気な姿を見ていると、どのような社会環境にあっても、子どもたちはこのようにチャンスがあれば工夫しながら小さなアクションに対して、好奇心、冒険心を持ち、挑戦するのだと本当に痛感した。こうした体験の積み重ねが子どもたちの成長に繋がると私は心から感じる。私は、これまでの経験から、子どもたちが安心して、様々な体験ができる場があれば、必ず集まってきてくれると良く知っている。今のコロナ禍においても、様々な工夫をすることで子どもたちが集まる場所を守ることができると思う。大和市として、子どもたちが安心して様々な体験できるような環境が市全体に広がるよう、今後も力強く支援していただきたいと思う。また、心からそう願う。

青少年指導員の成り手が少なくなっていると聞く。これからはますます地域全体で子どもたちの成長を支えていかなければならないと本当に心から思う。今後、子どもたちの健全育成のため、どのような取り組みをしていくのか伺いたい。

所管部 : 「子どもの外遊び地域イベント」や「親子ナイトウォークラリー」、「ふれあい広場」など子どもたちの多様で豊かな遊びや体験の場を提供するための事業実施

にあたっては、地域の方々の協力が必要不可欠であり、青少年指導員をはじめとする担い手の確保は大変重要であると認識している。

青少年指導員については、地域の中から適任と思われる方を、自治会を通してご推薦いただいているところである。現在担っていただいている方々からは「大変だ」という声がある一方で、「よい体験ができた」「生きがいのひとつである」「活動が楽しい」といった話をいただくこともある。これらの話を広めていただくなどして、引き続き地域の皆様にご協力いただきながら、担い手の確保に努め、事業の充実を図っていく。

教育委員：方針②「新しい時代を生きる子ども一人ひとりの確かな学力を育みます」の特別支援教育推進事業について、意見させていただく。

昨年度も引き続き、医療的ケアが必要な子どもが在籍する3校に看護師を派遣することができた。今年度は5校へ派遣している。インクルーシブ教育への取り組みが求められている中、このような充実した取り組みを続けている大和市の教育環境は本当に素晴らしいものだと思う。そして、これからは小学校入学前に所属していた機関との連携がますます重要になると感じている。例えば、いわゆる自閉症などの子どもたちは、早い段階で発見し、適切な対応をすることで、その後の成長に大きな違いが出てくるケースがある。私も実際にそのような児童と家庭を見てきた。子どもたち一人ひとりの特性をしっかりと情報共有することで、スムーズな学校生活を送ることに繋げることができる。アンダンテを中心に、これからも子どもたち一人ひとりに目を向け、取りこぼしのない学びの環境を整備していきたいと思う。

所管部：できるだけ、地域で学ばせ、育てたいと考える保護者が増えてきている中、学校生活を送る上で、医療的ケアを必要とする子どもも増えてきている。今後も子どもたちが安心して、安全に学校生活を送ることができるよう、適切な支援を行っていく。また、アンダンテが2年目を迎える中、関係機関との連携により、多くの就学前の子どもたちが相談に来ている。今後も、保護者、子どもが安心して小学校入学の準備できるよう、幼稚園・保育園などと情報の共有に努めるとともに、学校の受け入れ体制の支援に努めていく。

教育委員：方針⑧「あらゆる世代の知性を高め人生を豊かにする読書活動を促進します」の図書館管理運営事業について、意見と質問をさせていただく。

シリウスが開館して4年が経った。この4年間、大和市は「図書館城下町」として発展を続けることで、市民はもちろん、全国の自治体から高い評価をいただくことができた。シリウスの開館当初から、今では大和市の全ての図書館と生涯学習センターなどを運営している指定管理者「やまとみらい」の充実した取り組みによって、大和市の図書館や生涯学習センターは快適で過ごしやすい居場所である、いつも楽しそうなイベントをやっているという印象が浸透した

のではないかと思います。

先月、大和市文化創造拠点等運営審議会で審査がされ、来年度から5年間の指定管理者の候補者として、引き続き「やまとみらい」が選ばれたと聞いている。今後もより「やまとみらい」と連携して、「図書館城下町」の更なる発展に取り組んでいただきたいと思います。

大和市文化創造拠点等運営審議会では、どのような審査がされたのか。選定にあたって、「やまとみらい」のどのような点が評価されたのか。

所管部 : すべての図書館を同一の指定管理者が運営することで、一体的な図書館運営を目指すとともに、図書館城下町施策の推進に努めている。なお、指定管理者の指定は、地方自治法の規定により、議会の議決を経る必要があることから、令和2年12月定例会の議決後に行われる予定となっている。

大和市文化創造拠点等運営審議会では応募者である「やまとみらい」について、応募者資格等を確認するための書類審査及び、企画提案に関する面接（プレゼンテーション）審査を行い、各委員が評価基準に基づき採点を行っていく方式で審査が行われた。選定にあたり、各施設の利用者サービスに関することについては、これまでの運営実績も踏まえ、安定的な運営が期待できる点で高い評価を得たところである。

教育委員 : 方針④「安全で安心して学校生活を送れる環境を整えます」、方針⑤「多様性を尊重し、他者と共に生きる社会性を育みます」のいじめ等対策事業について意見させていただく。

いじめの未然防止、早期発見のためには、教職員の日頃の見守りだけに頼らず、あらゆる手段、方法を駆使して、子どもたちの状況を把握できるように努めなければならない。大和市では、スマートフォン用のアプリ「STOPit」を導入し、市内の全中学生が、匿名で報告・相談ができる環境を整備してきた。しかし、家庭の考えなどもあり、全ての中学生がスマートフォンを持っているわけではない。これまで「STOPit」を利用できなかった中学生も居たかと思う。今、GIGAスクール構想によって、全生徒に配布するタブレット端末の整備を進めている。この端末の全てに、「STOPit」を導入する予定である。これで全生徒が「STOPit」を利用できる環境が整った。子どもたちにくまなく目が行き届き、いじめの未然防止、早期発見に繋げることができるものと期待している。

所管部 : 全生徒が「STOPit」によるいじめの通報・相談を利用することで、いじめの未然防止、早期発見、いじめ解決の一助となるものと認識している。今後も、学校において、自分が困ったときや、いじめを発見したときなど信頼できる大人に相談したり、「STOPit」を活用するなど、適切な行動がとれるように、継続的に指導していく。

教育委員：方針⑨「人生100年時代」に輝く「学び」の取り組みを推進します」の文化芸術振興事業について、意見と質問をさせていただきます。

文化とは、継続することで初めて生まれるものである。経費をかけて大きなイベントを開催するだけでなく、地に足をつけて、地道な活動を続けていくことが何よりも重要なことだと思う。情報誌やホームページ、SNSを活用した広報も常に発信を続けていくことが大切である。是非、内容の充実はもちろんのこと、素早くタイムリーな情報発信を心掛けてもらい、市民の目と耳に情報が届くようお願いする。

私は、市民が市民の心に訴えるような文化活動を大切にして欲しいと思います。そして、市民の心に染み渡るような文化とはどのようなものを念頭に事業に取り組んで欲しいと思う。

文化を育てるには、文化活動をされている市民の方々を見つけ、育てていくことが必要である。今後どのような取り組みをしていく計画か。

所管部：本市では、市民が文化芸術に親しめる環境をつくっていくためには、全ての市民が文化芸術を親しむことができ、主体的に活動に参加できるよう、一人ひとりの状況に応じた取り組みが必要であると考えている。平成28年11月3日にシリウス内に開館した「やまと芸術文化ホール」では、質の高い芸術鑑賞を実現するとともに、トップアーティスト等との交流を通じて、市民の文化芸術への理解を深め、創造意欲を掘り起こすなど、市民の主体的な活動につながるきっかけとなっている。

また、次世代を担う子どもたちが、文化芸術に対する興味・関心を効果的に引き出すため、書道や華道、舞踊等の伝統文化を身近に学べる「やまと子ども伝統文化塾」の開催や絵を見ながら心の情操を図る「対話による美術鑑賞授業」を全小学校での実施、子ども向けの絵画コンクールへの支援など、子どもたちが健やかに成長していける環境づくりに取り組んでいる。

今後、将来にわたり、大和の文化芸術をさらに発展させていくために、若い方を中心に、文化芸術の牽引者となるような人材の発掘及び担い手の育成に力を注いでいきたいと考えている。具体的には、「対話による美術鑑賞授業」を運営するスタッフや文化芸術団体の運営サポートを行うボランティアの育成など、市民の活動を支援する体制の整備に努めていきたいと考えている。

教育委員：方針⑥「放課後の居場所づくりを推進します」の学力向上対策推進事業と放課後子ども教室管理運営事業について、意見させていただきます。

今年度より放課後事業を平日5日間の開催とし、放課後の居場所づくりをより充実させるため、準備をしてきた。長期休業期間は、放課後事業も実施できなかったが、学校の再開後は学習支援員やパートナーの方々の努力によって、しっかりと感染予防を行いながら、事業を実施することができている。これから

の放課後事業は子どもたちの学力向上と健全な成長のためだけでなく、安全で安心して過ごせる放課後の居場所になるよう、事業の運営にはきめ細やかな配慮と様々な工夫が必要になってくる。教育委員会としては、現場のニーズをしっかりと把握し、必要な支援を行っていききたいと思う。

所管部 : 今年度から、平日には放課後寺子屋と放課後子ども教室の両方又はいずれかを開催しているの、児童、保護者が放課後の居場所として利用しやすくなったものと考えている。また、放課後寺子屋と放課後子ども教室を一括して教育委員会で所管することになったため、連携が一層スムーズになったものと考えている。コロナ禍の状況の中でも、子どもたちが安心して充実した活動に取り組んでもらえるよう、今後もしっかりと準備していく。

教育委員 : 方針⑦「健康に関する教育を推進します」の児童健康管理事業・生徒健康管理事業について、意見をさせていただく。

今、学校では、新型コロナウイルス感染予防のため、これまで以上にうがい、手洗いやマスクの着用について、しっかり指導がされており、子どもたちの意識が大変高くなっている。このような取り組みがインフルエンザの予防にも繋がりが、今年はインフルエンザに感染する児童生徒が減るのではないかと期待している。

例年、各学校では6月までに学校医などによる健康診断を行っている。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響があり、健康診断を延期していたが、感染予防をしっかり講じたうえで、2学期から順次行っているところである。

最近の子どもたちは、虫歯がとてもなく少なくなった印象がある。これは、健康の大切さを伝える教育を着実に進めてきたことで、保護者と児童生徒の健康への意識が高まっている効果ではないかと感じている。

新型コロナウイルスの感染拡大は、健康の大切さを実感する機会になったと思う。この機会を大切に、これまで以上に新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底しながら、子どもたちの指導を続けていきたいと思う。

所管部 : 新型コロナウイルス感染症への対策として、現在、各学校のハンドル式の蛇口5, 450か所を、順次レバー式に変更するなどの対策を進めている。また、家庭における児童生徒の健康観察や感染予防対策の実践について、保護者への周知・啓発を継続し、感染予防と健康意識の向上に努めている。

健康診断等の各種事業については、感染予防対策を徹底した上で行い、引き続き教育活動の円滑な実施と児童生徒の健康保持及び増進に努めていく。

教育委員 : 本日説明のあった教育大綱関連事業については、大変多くの予算を確保してもらい、感謝申し上げます。それぞれの努力のおかげもあり、既に実施し成果を得ているものや、現在目標に向けて実施しているもの、そして、将来に向けて繋

げていくものもあった。

教育委員会としては、まずこれまでの成果を検証して、新型コロナウイルス感染症の影響をしっかり踏まえ、必要な対策を講じながら、今年度も各事業を進め、来年度の事業に繋げていく。今後も引き続き改善、充実を図っていくことで、大和市民が充実した教育環境でつつがなく生活できるよう努めていきたいと思う。

#### 4 その他

#### 5 閉会